

## チェコインベスト (ビジネス・投資開発庁)

---

### トヨタ紡織、チェコに初の自動車内装部品向け 生産拠点を設立

トヨタ紡織株式会社の欧州子会社 Boshoku Automotive Europe GmbH は、2012年5月、チェコ共和国に自動車内装部品向け生産会社「Boshoku Automotive Czech s.r.o.」を設立しました。トヨタ紡織グループとしてチェコに生産拠点を設けるのはこれが初めてで、初期費用として7,500万チェココルナ(約3億円)を投資し、ピルゼン州ピルゼン市に3,600㎡の工場を新設。工場長にはRadim Otipka氏が任命されました。生産開始は2013年中旬となる見通しで、BMW・ダイムラー・フォルクスワーゲン・オペルをはじめとするドイツ大手自動車メーカー向けに、ドアトリムや天井といった内装部品を開発・生産していく予定です。

Boshoku Automotive Europe GmbHは、2011年7月にトヨタ紡織がPolytec Holdingから自動車内装ビジネスを買収した際に設立された、ドイツに本拠をおく会社です。今回新しく建てられたBoshoku Automotive Czech s.r.o.は、ドイツ(4拠点)、ポーランド(1拠点)に続き、ヨーロッパでは3カ国目の生産拠点となります。

### ムーディーズ、 チェコ共和国の信用格付けをA1と認定

米大手債券格付け機関であるムーディーズ・インベスターズ・サービスは、2012年7月17日、チェコ共和国の信用格付けをA1と認定。チェコの経済的・組織的・財政的安定が反映された結果だと発表しました。

ムーディーズによると、チェコ共和国がこの格付けを達成した最も大きな理由は、政府が2011年に財政赤字をGDPの3.1%にまで引き下げることに成功し、チェコ経済を回復へと導いたことです。

これは、当初予定されていた4%という目標を大きく下回っただけでなく、欧州委員会による「2013年までに財政赤字をGDPの3%まで引き下げる」という要求もほぼ満たす程の成果となりました。

2番目に挙げられる理由としては、更なる経済の弱化が予想される環境下でもヨーロッパにおける債務危機の悪影響を受けていないという事実です。具体的には、流動性の高い銀行システムによって金利の抑制・海外保有率の低下・財政市場の脆弱性の緩和が起こったため、結果的に国債が減り、投資家に「安全な場所」として認識されているといった背景があります。

こういったチェコ政府の効果的な財政再建の他にも、安価な労働力・高い教育水準・整備されたインフラといった外国投資を助長させる経済的要素が、今回の格付けを押し上げる要因となっているようです。また、今回のムーディーズの発表によると、認定されたA1レベルの格付けはこの先数年も安定する見通しだということです。

お問い合わせは、チェコ共和国大使館内 チェコインベスト駐日代表 ノヴァーコヴァー・エリシカ(〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-16-14 チェコセンター2階、TEL:03-3486-0329、FAX:03-3486-0328、E-mail:[tokyo@czechinvest.org](mailto:tokyo@czechinvest.org)、Webサイト:[www.czechinvest.org](http://www.czechinvest.org))まで。